

ヒルズ・ロード・コーラス第6回定期演奏会

Hill's Road Chorus

The 6th Regular Concert

指揮：大貫 浩史

conductor: Hiroshi Ohnuki

合唱：ヒルズ・ロード・コーラス

chorus: Hill's Road Chorus

管弦楽：ヒルズ・ロード・コーラス・オーケストラ

orchestra: Orchestra for Hill's Road Chorus

曲目：バーバー 「アニウス・デイ (神の仔羊)」 作品 11
(「弦楽のためのアダージオ」の作曲者による混声合唱用編曲)

ロッシーニ 「小荘厳ミサ曲」より クレド

ソプラノ：稲村麻衣子 アルト：筒井直子 テノール：小沼俊太郎 バス：松井永太郎

ブラームス 「運命の歌」 作品 54

ブラームス 「哀悼の歌」 作品 82

program: Barber, "Agnus Dei" Op.11
(arranged by the composer from "Adagio for Strings")

Rossini, Credo from "Petite messe solennelle"

soprano: Maiko Inamura alto: Naoko Tsutsui tenor: Shuntaro Konuma Bass: Eitaro Matsui

Brahms, "Schicksalslied" Op.54

Brahms, "Nänie" Op.82

2018年5月26日(土)

開場 / 13時半 開演 / 14時

2:00pm, Sat. May 26th, 2018. doors open at 1:30pm

淀橋教会 礼拝堂

Yodobashi Church Chapel

入場料金 / 全席自由席 3000円

admission: ¥3,000 (non-reserved for all seats)

チケットぴあ pia.jp/t
0570-02-9999

Pコード / 108585

問合せ / ヒルズ・ロード・コーラス事務局 <mail@nucky.me>

URL <http://www.hr-chorus.com/>



(東京都新宿区百人町 1-17-8)

交通 JR中央・総武線大久保駅下車徒歩1分

JR山手線新大久保駅下車徒歩3分



Hill's Road Chorus

ヒルズ・ロード・コーラス (通称：ヒロコン) のご紹介

私たちは、まだまだ若いアマチュア混声合唱団です。指導者は、美しい調和を大切に音楽性を追究しつづける大貫浩史先生。団員数は80名ほどです。

団員はみな先生の求める音楽のレベルの高さを知っています。そこで頑張るがなかなか届かない。でもあきらめない。大貫先生も辛抱強く手綱をぐいっと力強く引っ張りつづけてくれます。わたしたちは年々、確実に前進していると思います。そんな指導者の卓越した音楽性に惹かれて、素晴らしいプロ歌手が集まっています。彼らはヒロコンの旗印のもと、同じ仲間意識をもつプロ団員として参加しています。このことは他の合唱団にはない、ヒロコンらしさの大きな魅力といえるでしょう。

私たちは定期演奏会のほか、依頼公演や異なるジャンルの舞台のコラボレーションイベントにも積極的に取り組んでいます。

2015年3月、ロッシーニ歌劇場管弦楽団の初来日初演奏「バチカンより日本へ『祈りのレクイエム2015 in 東京』」(オーチャードホール)にて、モーツァルト「レクイエム」を演奏、好評を博しました。この成功により、翌年3月イタリアに遠征。ロッシーニ歌劇場、聖パオロ大聖堂でもモーツァルトのレクイエム他を演奏。さらに2017年3月に、東京で、再演することができました。

2015年9月には、アールドラテ歌劇団の依頼で、ヴェルディのオペラ「ドン・カルロ」に合唱出演、2017年は同団の「イル・トロヴァトーレ」にも合唱出演しました(本年も7月「ナブッコ」に出演予定)。

また2016年1月には、宮城文先生率いるバレエ団の舞台で、舞台効果を支える、さまざまな曲の合唱を演奏。踊りと合唱を合わせることの難しさ(バレリーナの動きが美しく見とれてしまう人が・・・)と楽しさを経験し、合唱団としてのレベルや幅を広げました。

このように、さまざまな演奏会や公演に参加し、これからもヒロコンは前進しつづけます。

私たちが一番大切にしていること、それは、会場に足を運び、聴きにきてくださる聴衆の皆さまです。これからも、皆さまに大いに喜んでいただける「合唱エンターテインメント」を団員全員でつくりあげていきたいと思ひます。

末永くあたたかいご声援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(ヒルズ・ロード・コーラス事務局長 平尾卓也)



指揮者：大貫 浩史

早稲田大学理工学部化学科および東京藝術大学音楽学部音楽科を卒業。テノール歌手としての活動は多岐にわたり、日本内外の主要オーケストラとの共演も多い。7年間の東京混声合唱団在籍を経て、現在は合唱指揮および声楽アンサンブル活動に重点を置き、古楽から現代、クラシックからポップスまで幅広いジャンルでの指揮・演奏・レコーディング活動を行う。男声アンサンブル「八咫鳥(やたがらす)」メンバー。

映画「日本と原発」(河合弘之監督・2014年)では、新垣隆と共にその音楽を制作、オーケストラ作品を指揮・録音。麻生合唱団、早稲田大学混声合唱団 OBOG 合唱団、ネオ・パウルニア、アゼリア女声コーラス、まきばメイルクワイヤーなど、10数団体を指揮指導。

ももいろクローバーZ 東響コーラスをさいたまスーパーアリーナ(2011)・国立競技場(2014)で指揮。GUCCI主催チャリティイベント(2014)では両国国技館中央で東北・東京の高校生約200人を指揮。

2016年3月の「バチカンより日本へ祈りのレクイエム公演」(東日本大震災復興支援活動)では当ヒルズ・ロード・コーラスを率いてペーザロロッシーニ歌劇場・バチカン聖パウル大聖堂・チヴィタヴェッキア日本聖殉教者教会にてモーツァルト「レクイエム」他を演奏・指揮、NHK ニュースに取り上げられる。同年7月の麻生合唱団定期演奏会にて、ヴィヴァルディ・プーランク・ラターそれぞれの「グローリア」を東京フォルトゥーナ室内管弦楽団と演奏。これが初めてのオーケストラ指揮となった。当ヒルズ・ロード・コーラスを2012年に立ち上げ、豊かな音楽経験と知性・情熱・技術・ユーモアを惜みなく注ぐ。2017年10月のヒルズ・ロード・コーラス第5回定期演奏会ではヴェルディ「レクイエム」を取り上げ、合唱団と新交響楽団総勢200人を指揮した。

Japan Chorus Force 代表。JCDA日本合唱指揮者協会会員。

新規メンバー募集中！

ヒロコンでは、新規メンバーを募集しています。

楽しい仲間たちと一緒に息を合わせてみませんか？

まずは気軽に見学(無料)からどうぞ！

入団時にはパート分けのためのヴォイスチェックを行わせていただきます。

▶見学・入団のお申込みは、事務局まで

<http://www.hr-chorus.com/> 「お問い合わせ」から
mail@nucky.me



HP



mail